

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事		平成26年 5月 7日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都中野区中野4丁目10番2号 中野セントラルパークサウス		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) キリンビバレッジ株式会社 代表取締役社長 佐藤 章 03-6837-7003(代)
環境マネジメントシステムの名称		キリンビバレッジ環境マニュアル (JISQ14001:2004(ISO14001:2004))
適用範囲		キリンビバレッジ株式会社 本社・湘南工場・舞鶴工場
導入年月日		1999年 9月 2日
認証番号		JMAQA・E061 (ISO14001)
基 本 方 針		①環境に与える影響を常に認識し、環境汚染の防止に努めます。 ②環境関連の法律・規則・協定ならびに自主的に定めた規制や基準を遵守するとともに一層の環境保全を図ります。 ③環境保全に配慮した商品開発、技術開発を推進します。 ④省資源・省エネルギーに努め、環境負荷を低減します。 ⑤資源循環型社会を目指し、廃棄物の排出抑制とリサイクルに努めます。 ⑥企業市民としての立場を大切にし、身近な環境保全活動を通して地域、社会に貢献します。 ⑦「環境にやさしい企業」を目指して、社員ひとりひとりが環境を考えます。 ⑧上記のような環境に与える影響を考慮し、環境目標及び達成計画を設定、見直し、実践することにより継続的に改善活動を行います。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)		1. 省エネルギーの推進(2013年度環境目標) 目標 : 電力原単位 56.2 kWh/k1以下 燃料原単位 23.8 kg/k1以下 CO2 85.5 kg/k1以下 2. 公害防止対策の強化 目標 : 市公害防止協定違反なし、かつ環境事故度数ゼロ 3. 環境教育の推進 目標 : 環境教育の実施2回以上
目標を達成するための取組の内容		1. 省エネルギー(CO2削減) ユーティリティ会議(1回/週)で評価・解析 省エネ会議(不定期)で省エネ推進 2. 公害防止対策 環境委員会(1回/月)で評価 3. 環境教育 環境研修(2回/年) コンプライアンス研修(1回/年)
目標を達成するための取組の進捗状況		1. 省エネルギー('13年4月～'14年3月) 実績 : 電力原単位 58.1 kWh/k1 燃料原単位 20.9 kg/k1 CO2 73.5 kg/k1 2. 公害防止対策の強化 実績 : 市公害防止協定違反なし、環境事故度数ゼロ 3. 環境教育 環境研修4回実施(流出事故防止8月等) コンプライアンス研修(10月実施)
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価		1. 省エネルギー 電力原単位: 連続操業から週休1日となったこと、製造量の減少、少量多品種化による製造効率の悪化のため未達成となった。 燃料原単位: 連続操業から週休1日となり悪化が危惧されたが、殺菌温度の見直し等により達成した。 CO2 : 同上の理由により達成となった。 2. 公害防止対策の強化 当初計画通り取り組むことができている。 3. 環境教育 当初計画通り実施できている。
事業活動に係る法令の遵守の状況		1. 環境関連法規、規制、協定等を順守し、違反・指摘なし。 2. 環境に関する法規制等のチェックリストにより1回/年確認・評価を行う。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容		工場長は、環境マネジメントシステムの適合性及び有効性の確保・継続のため、以下の通り、年度の振り返りを実施する。 ①内部監査の結果、レビューが必要とされる場合。 ②環境に関する重大な問題が生じた場合。 ③環境に関する新しい業務が導入された場合。 ④関連する利害関係者により環境に関して要求事項が生じた場合。 ⑤上記①から④に該当しない場合も前回のレビューから1年以内に実施する。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。